

大阪市立 桑津小学校

所在地 〒546-0041 東住吉区桑津5-13-13

電話 06-6713-0922

URL <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e741690>

校長名 大石 浩之



携帯用 スマホ用



標準服 有 集団登校 無



学校概要

学校教育目標 ○自ら考え、やさしさと思いやりの心をもつ、元気で明るい子どもを育てる。

- ・自ら考え…主体的に考え、判断する子
- ・やさしさと思いやりの心をもつ…仲良く助け合い協力する子
- ・元気で明るい…心身ともに健康な子

本年度の重点目標 <<育成・推進すること>>

- ①基礎的・基本的な学習能力…読書力や発表力・計算力
- ②コミュニケーション力…あいさつの励行・相手の思いや考えを理解し、認め合いながら話し合う力の育成
- ③体力づくりの推進…体育の時間や体育的行事の拡充・体育施設・器具・用具の活用
- ④地域・家庭との連携…保護者との信頼関係の構築・PTA・地域活動への参画

校長先生のメッセージ 歴史と文化の町 桑津

本校は、平成22年(2010年)6月4日に創立70周年を迎えました。社会科の副読本「わたしたちの桑津」が創立50周年を記念して創刊され、その後2回の改訂を行いました。この副読本により「桑津」という地名ははかり古くからあり、「日本書紀」にもその名が出てきます。また、伝説として、「4世紀のはじめに”日向の国”から美しい髪長媛が桑津にいられて、桑の木を植え、蚕を飼い、糸をとって織物を作られた」とあります。その伝説にならって、今でも毎年6月頃に、子ども達が蚕を飼育しています。

運営に関する計画

【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校・家庭・地域)の実現]

- 全市共通目標(小・中学校)**
- ①平成30年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
 - ②平成30年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を90%以上にする。(本校 平成29年度89%)
 - ③平成30年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。(本校 平成29年度 0人)
 - ④平成30年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。(本校、平成29年度 0人 30日以上欠席児童: 5/742)

学校園の年度目標

- ⑤平成30年度末の校内児童アンケートの「学校へ行く(来る)のが楽しい」の項目の肯定的な回答の割合を昨年度の状況を維持する。(平成29年度 低学年93% 高学年86%)

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上]

- 全市共通目標(小・中学校)**
- ⑥平成30年度の小学校学力経年調査における標準化得点と、前年度より向上させる。(本校 平成29年度の標準化得点、100.6点)
 - ⑦平成30年度の小学校学力経年調査における大阪市の平均の7割(52.5%)に満たない児童を同一の母集団と比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。(本校 平成29年度正答率52.5%未満の割合 3年(新4年)8% 4年(新5年)14% 5年(新6年)12%)
 - ⑧平成30年度の小学校学力経年調査における大阪市の平均を2割以上上回る(90%)児童の割合を同一の母集団と比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる。(本校 平成29年度正答率90%以上の割合 3年(新4年)14% 4年(新5年)8% 5年(新6年)11%)
 - ⑨平成30年度の小学校学力経年調査(校内調査)における「学校の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。(本校 平成29年度 71%)
 - ⑩平成30年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題であるソフトボール投げの平均の記録を、前年度より1.6m向上させる。(平成29年度 本校: 男子20.2m(-2.4m)・女子13.3m(-0.8m) 大阪市: 男子22.6m・女子14.1m)

学校園の年度目標

- ⑪平成30年度末の校内児童アンケートの「すすんで運動をしている」の項目の肯定的な回答の割合を昨年度より向上させる。(平成29年度 低学年82.9% 高学年67.1%)

児童数・学級数

平成30年5月1日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
児童数	129	123	120	148	127	111	758
学級数	4	4	3	4	4	3	22
特別支援学級							7

体力・運動調査結果

種目別平均値	種目	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
男子		15.69	20.81	35.35	42.42	54.17	9.38	157.00	20.16	54.58
女子		15.12	20.88	39.09	41.09	46.95	9.40	150.46	13.34	57.73

体力合計点では、全国平均と比較して、男子は0.42ポイント、女子は2.01ポイント上回っている。種目別では、男子は上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、立ち幅とびの5種目、女子は上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50メートル走、立ち幅とびの6種目で、全国平均を上回っている。握力、ソフトボール投げは、男女ともに全国平均・大阪市平均を下回っている。

昨年度の結果を受けて、本校では各学年で重点的に取り組む種目を決めて、個々

学力調査結果

	国語A	国語B	算数A	算数B
平均正答率(%)	73	55	75	41

全国学力・学習状況調査の結果を見ると、国語では、A問題・B問題ともに大阪市平均を上回った。算数では、A問題・B問題ともに大阪市平均とほぼ同じであった。

【国語】A問題の話すこと、聞くことでは、全国平均より8.5ポイント高く、読むこともほぼ全国平均と同じとなった。基礎・基本的事項を問う問題では、昨年度同様、取り組みの成果、定着が図れてきている。さらに、読書タイムや図書ボランティア、図書館開放を行ってきた成果として、A問題同様、B問題の読みことは大阪市平均より2.7ポイント上回っている。基礎・基本的事項の習得を図るプリント学習やTT・習熟度別による少人数指導等、個に応じた指導の取り組みを進めてきた成果は一定表れてきている。

【算数】A問題の量と測定では、大阪市平均より5.8ポイントも上回り、全国平均より3.8ポイント上回ったが、図形では大阪市平均より3.6ポイント、全国平均より5.4ポイントも下回り、数量関係では大阪市平均より、3.7、全国平均より8.3ポイントも下回った。B問題に関しても、図形・数量関係で、大阪市、全国平均ともに下回った。図形・数量関係を中心に習熟度別少人数授業を重点的に行う必要がある。

○朝学習・放課後学習・家庭学習等を計画的、継続的に取り組み、自学自習の習慣づくりを進めるとともに、基礎・基本的事項における習得の程度を日々点検し、学習内容の定着をさらに進めていく。

○TTや習熟度別による少人数指導を実施し、個に応じた指導の良さを活かして、「わかる」「できる」授業づくりを推進し、どの子もわかった喜びを実感できるようにする。

○「自ら学び、友達と高めあひながら、基礎基本の定着を図る算数科の指導法の工夫～主体的・対話的で深い学びの実現に向かう授業をめざして～」を研究主題として算数科を中心に研究活動を進めている。

○読書環境を改善し、本との出会いの機会を増やしていくことを通して、読書活動を充実させていく。

○「よいところはしっかりとほめる」「悪いところは叱り、その意味を考えさせる」といった指導を組織的・継続的にを行い、より規範意識が高く、自己肯定感をもつことのできる児童を育成する。また、家庭や地域との連携を強め、多くの目で児童を見守り、児童を健全に育むことができるようにする。

*全国・大阪市の平均についてはP10参照

学校の沿革

昭和15年2月 大阪府大阪市桑津尋常小学校と称す
 昭和15年4月 育和・北田辺小学校より分離開校
 昭和22年4月 大阪市立桑津小学校と改称
 昭和26年6月 分校設置
 昭和47年8月 分校廃止
 平成2年2月 創立50周年記念式典挙行
 平成3年6月 講堂兼体育館竣工記念式典挙行

平成12年11月 東館Ⅱ期分完成
 平成14年2月 運動場貯水工事完了
 平成17年3月 校舎増設(東校舎南側)
 平成22年6月 創立70周年記念式典挙行
 平成26年8月 普通教室空調設備工事完了
 平成27年8月 講堂吊天井撤去工事完了

学校行事

- 4月 入学式・始業式・着任式・対面式・学習参観
- 5月 春の遠足・家庭訪問・学習参観・土曜授業(避難訓練・引渡訓練)
- 6月 土曜授業(桑津っ子フェスティバル)・プール開き・5年生林間学習
- 7月 教育懇談会・終業式・プール開放
- 8月 プール開放・始業式
- 9月 運動会
- 10月 修学旅行・就学時健康診断(時期未定)
- 11月 土曜授業・スポーツ交歓会・音楽鑑賞会
- 12月 教育懇談会・終業式
- 1月 始業式・卒業遠足
- 2月 新入生保護者説明会・学習参観
- 3月 卒業を祝う会・卒業式・修了式



授業づくりを通して、豊かな学びを目指します

算数科を研究教科とし、授業実践を核とした研究活動を推進し、基礎・基本の力を身につけ学力向上を図ります。また、言語力や論理的思考能力の育成を図ります。「わかる授業」「楽しい授業」をめざして、習熟度別少人数指導やTT学習などの少人数指導を推進しています。



協働・連携を通して、子どもを育みます

学校協議会委員の方々をはじめとして、地域の皆様との連携を深めています。地域安全ボランティアのみなさんを中心に、子ども達の登下校の安全を見守る活動を推進しています。PTA活動にも積極的に参加協力し、協働体制を強めています。近隣校園職員間で、学習面・生活指導面での連携を深めています。



読書環境を充実させ、読書活動を推進します

読書タイムや読書カードを工夫して、読書に親しめる環境づくりを推進しています。学校図書館ボランティアによる本の読み聞かせや折り紙教室を実施しています。学校図書館の運営に、多くのボランティアのみなさんに協力いただいています。



ふれあひを通して、学びを深めます

年間を通して、ペア学年(1・6年、2・5年、3・4年)による活動(ペア集会・なかよしタイムなど)を計画的に取り入れて、お互いを思いやる心を育てています。地域のだんじり保存会の方々によるだんじり体験、地域のみなさんにご支援をいただくグランドゴルフ体験や昔遊び体験、お母さん方による生命の授業など、ふれあひや体験活動を中心にした学習により、人と人のつながりの中で学びを深めています。すべての教育活動の中で、身近な生活体験を通して人権尊重の態度を育て、行動できる子どもを育てています。国際クラブ「ハナルの会」を開級して、互いの違いを認め尊重する学習を通して、国際理解教育に取り組んでいます。

